６年生個人競技の120㍍徒競走（９月26日、寄木小）

話題ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係（☎・内線1203）

秋めく校庭でよーいドン

小中学校で運動会・体育祭を開催

春から延期していた市内小中学校14校の運動会・体育祭は８月29日から10月10日にかけて開かれ、児童生徒は新型コロナウイルス感染症に注意を払いながら、元気に校庭を駆け回りました。

各校とも接触が少ない競技への変更や競技時間の短縮など、感染予防と熱中症対策を取って開催しました。

寄木小では、緑の少年団大会の中止で発表の機会を失っていた伝統の鼓笛を今年度初披露。マスク姿の保護者が見守る中、児童は力強く演奏行進しました。

３年生団体競技のムカデリレー（９月26日、西根中）

岩手第一営業部の先崎幸範部長（左）と田村正彦市長

異変キャッチで早期対応

高齢者の見守りに民間事業者と連携

医療用医薬品などの卸売販売業を営む東北アルフレッサ㈱と市は９月29日、市役所で高齢者等見守りネットワーク事業協定書を取り交わしました。

従来の地域における見守り活動に加え、市内で業務中の事業者の協力を得ることで、高齢者などの異変を早期発見し、適切な支援につなげていきます。

協定締結は同社で３社目。10月７日には第一生命保険㈱とも協定を結び、見守り体制をより一層、強化拡大していきます（関連11ページ）。

八幡平シニアの工藤正主将が野球を通じ親睦を深めることを宣誓（10月３日、第７回東北還暦野球大会）

市Ｐ連から教育長に手渡された令和元年度小学校卒業生のタイムカプセル（10月13日、教育長室）

川岸の崖にそびえ立つ柱状の玄武岩と木々が赤や黄に色づいた紅葉が見事に競演（10月16日、松川渓谷）

交通事故寄り切り作戦

秋の全国交通安全運動に地元高も協力

岩手警察署は９月23日、国道282号待避所（平舘こども園付近）で市交通安全関係団体と平舘高相撲部員と共に、秋の全国交通安全運動を行いました。

約50人が参加した交通安全運動は、交通マナーを守ってもらい、事故の発生を未然に防ごうと運転手一人一人にチラシを配りながら「安全運転でお願いします」などと声掛け。相撲部主将の岩﨑優樹さん（３年）は「呼び掛けが地域の事故防止につながってくれたらうれしい」と無事故への願いを込めました。

チラシとティッシュを手渡し安全運転を呼び掛け

もしものために山道行進

秋めく山で遭難救助訓練

連日の雨でぬかるむ登山道を力強く歩く訓練参加者

八幡平遭難対策委員会捜索救助隊は９月26日、裏岩手連峰で秋季遭難救助訓練を行いました。

訓練には岩手警察署、八幡平消防署など関係機関ら28人が参加。茶臼岳登山口から登り松川登山口に下る約20㌔のコースで地形や携帯電話の電波状況を確認するなど、紅葉シーズンを前に有事に備えました。

田中耕一隊長は「今日のような悪天候時には救助ヘリが飛べないこともあり、救助隊が重要になる。関係機関と連携を深めていきたい」と力を込めました。

新たな味わいで地元応援

道の駅にしねで新商品「ほうれん草餃子」発売

市産業振興㈱は10月８日、地元産ホウレンソウの消費拡大を後押ししようと、生地にホウレンソウを練りこんだ冷凍餃子を道の駅にしねで発売しました。

昨年から同施設の食堂で提供していたホウレンソウ餃子を食べた来店者から商品化の希望が多く、お土産用に開発。ホウレンソウ効果で生地がほんのり甘く、閉じ込めた肉汁のうまみと相まって箸が進みます。同社の西舘聡子係長は「地元の物を使ったオリジナル商品。味はもちろん見た目も楽しんでほしい」と期待します。

水・揚げ・焼き、どの食べ方でも美味しい餃子です

すなっぷギャラリー

防火ポスターで盛岡広域消防長賞を受賞し、一日消防署長を務めた伊藤純成君（10月10日、山賊まつり）

八幡平の秋を楽しむイベント第32回山賊まつりの開催をテープカットで祝福（10月10日、さくら公園）

安代りんどう30鉢で市役所を装飾し、中秋の名月に彩りを添えた八幡平花卉生産部会（９月28日、市役所）

平成29年から務める行政相談員の功績が認められ、佐々木正志さんが感謝状を受賞（10月19日、市役所）

田頭小同窓会からの支援で製作した市の自然がイメージされた木製メダル（10月13日、同校マラソン大会）

福祉標語で最優秀賞を受賞した遠藤忠弥君（大更小１年）

広げよう支え合いの輪

福祉課題解決に向けて市社会福祉大会を開催

第15回市社会福祉大会（市社会福祉協議会主催）は９月27日、西根地区市民センターで開かれ、参加者約80人が「安心して暮らせるしあわせの郷づくり」の実現に向け、共助の輪を広げていくことを誓い合いました。

式典では、多年にわたり社会福祉の増進に貢献した人や福祉健康標語の入選者に表彰状を授与。実践発表の部では、平舘高家庭クラブが「地域の健康長寿を願って！」と題し、高齢者の健康寿命を延ばすことをテーマに取り組んだ健康管理法を紹介しました。

たすきつなげて勇往邁進

県中駅伝で西根男子が６位入賞

第35回県中学校駅伝競走大会は10月２日、花巻市日居城野運動公園で開かれ、本市からは西根中男子が出場し、６位入賞を果たしました。

同校は三浦豪太③、髙橋然太郎②、髙橋悠月③、戸津大輝③、越田信平③、渡辺瑛大③（〇内は学年、敬称略）の順にたすきをつなぎ、６区間18.6㌔を１時間１分46秒でゴール。平成28年からの連続入賞記録を５年に伸ばしました。戸津主将は「優勝できず悔しい。来年は頑張ってほしい」と後輩に思いを託しました。

（前列）左から走順に出場者、（後列）バックアップメンバー

オンライン参加も含め約60人が聴講

新視点で活用を見直す

地熱と共生したまちづくりを考える

今年で４年目を迎えた沸騰地熱塾は10月２日、市役所多目的ホール棟を会場にオンラインで開かれ、参加者が地熱への理解を深めました。

１回目となる今回は、東北大名誉教授の新妻弘明氏が地域のための地熱資源の利活用をテーマに講演。「地域の人たちが主体となり、専門家などと協働して資源の利活用を考えてほしい」と呼び掛けました。

講座は２月までの全５回。火山や地熱と共生してきた本市の暮らしや産業を学ぶ講演などを行います。